



「総選挙勝利必ず」と日本共産党四国ブロックのキャラバンが7日、香川県で始まり、白川よう子衆院四国比例候補は丸亀市のついで訴えまし

た。

白川氏は、物価高騰な

香川から四国キャラバン開始 白川四国比例候補



定価 月 100円
発行所 民主香川社
高松市藤塚町 3丁目13-14
☎(087)834-7311

ど国民の暮らしが追いつめられ、国政の大本を变える必要性を訴え。「自民党の裏金事件は組織的犯罪だ。政治資金規正法の改定案を自民、公明、維新が衆院通過させたがパーティ券含む企業・団体献金や政党助成金は禁止を」と強調しました。

石田まゆ衆院香川2区候補は「党の経済再生プランで根本から変えていく」と力説。ささい孝志同衆院3区候補は「戦争反対の意思を貫いていく」と訴えました。

参加者からは「労働組合やその運動が弱まっている。労働者の権利はきちんと税金を納めて

◎高松で行動

7日から始まった四国ブロックのキャラバンで白川よう子四国比例候補は9日、高松市で街頭宣伝し、「自民党政治を終わらせ、国民が希望を持てる命と暮らし、生業を守り抜く政治に変えよう」と訴えました。



白川氏は「日本は30年も経済が停滞しているのに、岸田政権は社会保障を削り予算を軍事費に回す。給料や年金は物価高騰に追い付いていない。政治の責任で賃上げを」と強調しました。

お詫びとお知らせ

民主香川第3週（6月16日号）が本来の発行週でしたが、赤旗日曜版が合併号になった関係で発行を見送りました。その代替えで第5週の6月30日に発行しますのでご了承下さい。 民主香川社

黒島伝治

汗ばむような6月一日、宇多津町の街角つどいに参加しました。事前に地域に各戸お知らせをして、当日は事前にハンドマイクで触れ回り、何人もの人が参加してくれました。

神出宇多津町議の

6の日行動

高松市で6日、香川革新懇と九条の会かがわは「憲法を守り戦争しないさせない」や「大軍拡NO」などの横断幕やプラスタ



を掲げ6の日の行動をしました。中谷浩一日本共産党香川県委員長は金権腐敗の

医療後援会が朝宣伝900回

香川民医連内・日本共産党医療後援会の街頭宣



伝活動、「チーム火曜日」は22年目、通算900回です。白川容子さんの県議選立候補を機に開始しました。

近代日本文学には、朝鮮、台湾、満州などの植民地支配をリアルに描いた名作が見当たらない。この大きな弱点を埋めるのが、黒島伝治の『武装せる市街』である。ドナルド・キーンは、この小説をプロレタリア文学の最高傑作である、と次のように述べている。

（前略）黒島の反戦文学の傑作は『武装せる市街』（一九三〇年）である。ただし、この小説は発行と同時に当局に押収され、一九四五年（昭和二十年）の敗戦まで再び陽の目を見ることがなかった。

果が「武装せる市街」となった。日本企業による中国人搾取と、日本軍による武力支配が描かれている。中国における日本帝国主义の蛮行を黒島伝治はどうしても自分の手で書きたかったのだ。

